

2015 年度「あなたとともに考える人権学習集会」シリーズ

『最期までその人らしく生きる支えを考える』学習集会

アンケート集計結果

開催日：2015年12月5日（土）13:30~16:30

場所：岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室

講演：「最期までその人らしく生きる支えを考える」

赤瀬 佳代さん（看護訪問ステーション「晴」代表）

報告：①「命の輝きを大切に～最期までその人らしく支えたチームケア～」

住宅 俊乃さん（NPO 法人地域人権みんなの会 みんなの家ななくさ管理者）

②「入居者の思いに寄り添う介護の実現の為に」

長野 哲子さん（グループホーム福浜）

◆参加数： 63名

◆アンケート回収数：27名（回収率42%）

Q1. 今回の講演についてご感想をお書きください

<回答>

- ・NSによる自主組織として「晴」を立ち上げられたことに敬意。今後とも活躍を注視しています。地域包括ケアの広がりなかで、訪看の果たす役割はますます重要になります。連携の中で利用者本位のケアが前進することに期待します。
- ・貴重なお話、ありがとうございました。一度お話を伺いたいと思っていた赤瀬さんのお話を聞いて、自分が看護を提供する上での不安がすこし晴れました。同じ思いで仕事ができることを幸せに思いました。
- ・在宅で看取りを望まれる方に対して、それを叶えてさしあげたい思いはあるものの、まだ岡山の中で資源の乏しい地域もあり、対応に苦慮するところがあります。
- ・ぜひ参加させて頂きたいと思った学習会でした。先日もTVのニュースで「みとり士」という「みとり」をサポートされる方の報告をみました。人が生まれてから死ぬまで、一つとして同じ人生はないので、その中でその人に寄り添うとは何か…「みとる」とはどういう事か、日々考えています。つい一人よがりな思いを利用者さんに押しつけてしまっているのではないかと…。今日の学習会に参加し、改めて考えさせられました。
- ・言葉では簡単だけど「寄り添う」「その人らしく生きるを支える」と言うことは難しいと感じた。それには、まず自分の心を育てないといけないな、と思った。

- ・寄り添う看護として、訪問看護の事を少し分かった気がしました。その人の気持ち、家族の気持ちをくみとり、支援してその人らしい生き方をしてもらう事に、地域や介護他を含めて支えていく事だと感じました。
- ・「在宅療養」のことを知っている人はどれくらいいるのでしょうか。
訪問診療や訪問看護、介護、ケアマネなどサポートしてくれる「資源」のことをもっともっと知りたいですね。こういう機会を沢山つくって下さい。
- ・介護職として、利用者に寄り添い感じる事、考える事、悩む事がとても多く、利用者本意の生活支援ができているのか、常に自信はありませんが、基本姿勢として「寄り添う」一緒に考える、話す事の大切さを改めて感じました。
- ・精神疾患の方への訪問に構えている自分がいましたが、患者さんの想いを傾聴し、落ちついて必要な看護を提供していけたらと思いました。
- ・「患者に寄り添うこと」はと考えたり、「私らしく生きる」ことはどう生きていくかなど、日常的に考えていなかったのも、この場で考えることで少しリフレッシュしました。
“メッセンジャーナース”として、日々努力されていることをみて、私もこれからの人生をどのような形で働き続けようかと考えています。
- ・「心に寄り添う」という言葉、10年以上前から全国医療研という交流会の分科会のタイトルに作ってきました。
私自身が思う「寄り添う」とうことを、ずっと思いながら日々が過ぎて、今思うのは、言葉ではないということです。そばにただいて、満たされる気持ち、二人の間の言葉では言い尽くされない心と心の触れ合い、とても大切に思っています。
- ・「寄り添う」とはよく言う言葉ですが、実際に自分ができているかと振り返ると、自信を持ってできているとは言いにくいと感じました。
施設で介護職として働いていますが、業務ばかりに追われるのではなく、利用者様、ご家族様の思いをゆっくりと聞けるように、心がけていきたいと改めて思いました。
- ・日頃、真剣に考えた事がなかった「寄り添う」を改めて考えることができました。
- ・とてもいい講演でした。私の心の中もこの仕事をしていくことは、皆の役に立っていることが、とてもいいことと思いました。
私自身を大切に、やさしい言葉をかけながら、毎日楽しく歩んでいこうと思いました。
- ・寄り添う介護、最期までその人らしく…少し思いテーマではありましたが、医療と介護、看護、それぞれの立場での情報交換、連携がどれだけ大切なものか、という事が改めて再確認できました。
事業所の報告もあり、良かったと思いますが、もう少し事業所の報告を聞きたかったかな～と思っています。

- ・「その人らしく生きる」とても難しいと思います。
「自分らしく」自分らしくって?についても考えました。寄り添う事の難しさを感じています。
- ・「寄り添う」ってどういうこと? 「私らしく生きることの支え」って私にとってなんでしょう。
聞いていざ考えてみると、どんなことか考えることができました。
「メッセージナーズ」のことが少し分かりました。これから増えてくる在宅患者、利用者さんの事を考えることができた。他職種の連携は非常に大事だと思いました。
- ・「その人らしく生きるため」その人の葛藤する思いをよく聴く、そしてどう生きたいのか表出する思いを共有し検討するためには、ゆとりある時間と心のよい状態でないと難しいかな。
- ・はじめてこんな施設があるのを知って感心しました。
職員の志しと、施設経営がどうなるのか心配。国の制度としてやる必要があると思う。
- ・介護と看護については、制度の枠で捉える事が多かったので、取り組んでいる。
人の心がけていることから話を聞けてよかったです。寄り添うことについて、日常からよく考えていきたいです。そして、やりがいを支えるための十分な制度がやっぱりいると思いました。
- ・医療と在宅をつなぐ訪問看護の視点、また対象者を看る事、その事例を知る事ができ、自分の振り返り今後に活かしていきたいと思いました。傾聴、寄り添う、よく本でみかける言葉ですが、自分が実践していく中で振り返り、振り返り、先へ進んでいきたいと思いました。お話をきけて良かったです。ありがとうございました。
- ・対象が自分の介護のあり用と問いかけられ、とてもいい機会になりました。私は場面では利用者さんとの呼吸を一緒にすることを心掛けています。
- ・施設看護師で参加させて頂きました。以前は医療現場（病院）で働いておりましたので、在宅でのケアを考えることが非常に分かりづらかったのですが、講師の方の一つ一つの話が、これからの仕事の導きになりました。ありがとうございました。

Q2. 今回の報告についてご感想をお書きください

<回答>

- ・ななくさで「看取り」をされたことは大変画期的なことだと思います。
24時間体制で見守って、これからの事業でますますニーズは高まってくると思います。
大変ですが頑張っていたきたいです。
GHの報告は、取り組みの丁寧さがよく出ていました。職員の自発性が今後も引き出されてくるといいと思います。「利用者様」とか二重三重の敬語は少し引っかけります。GHの楽しい面が紹介されていましたが、報告者の笑顔がもっと欲しかった。

- ・介護事業所の限界はないんだな・・・と思いました。
- ・事例を通して、自分のケースと照らし合わせてみます。とても参考になりました。
- ・他の介護者の仕事とか、やり方とか分かってよかった。
- ・事例発表を聞き、自分たちが関わり看取りの介護をした事を再確認できました。
振り返り良かった点、反省点など、みんなで考え今後につなげていきたいと思いました。
- ・最期まで…けっして1人にしない、見放さない、の講師の赤瀬さんの言葉が心に強く感じました。
ななくさの報告では、大変な中その時々に応じた支援が伝わってきました。
グループホーム福浜の報告では、日常の中での視点についての大切さが伝わってきました。
- ・ななくささんの報告は、涙がでる程だった。並大抵の覚悟ではできないと思った。
- ・利用者さんや家族の気持ちを取り組みとることが大切だと、やはり思いました。
なかなか業務の中で難しくなる時もありますが、他業種と助け合い、よりよい支援が出来る様になりたいと思いました。
- ・懸命な取り組みが伝わりました。こういう事業所がぜひ、これからも繋がって、一人ひとりを支えて行ってほしいです。
- ・まとめた内容での発表でしたが、看取りにあたっての話し合いや準備も、とても大変なのではないかと思いました。利用者の生活を支えようという気持ちを強く感じました。
- ・ターミナルの方の話聞き、全て業務的ではなく人情的に対応しているのが印象的でした。
- ・二つの施設が素晴らしい活動をなさっていて、スタッフの方々の努力は大変だったと思います。
24H、看取りでなんとか支えが出来たこと、お疲れ様でした。
- ・地域の連携の大切さを強く感じました。
- ・病院で最期をむかえられる事が多いと思いますが、その人らしい場所で最期をむかえられるようにサポートできたら、素晴らしいだろうと思いました。
いろいろ直面する問題はありますが、とても興味をもちました。
- ・どこの事業所等も職員の不足を感じました。これからの在宅の増加等に対しての人員確保を国はどの様に考えているのか、不安を感じます。
- ・私はこんないい仕事をさせていただくことに感謝しております。本当に自分らしく生きていく事は大変です。でも、雨の日ばかりはないです。晴れの日もあります。一つ一つ大切にしながら、みんなと一緒に楽しく一日を過ごすことです。

- ・いろいろな写真での紹介があった方がいい。

実際、利用者さんの家族の現状もあると思います。普通に生活をされている家族、時々顔を見に行くだけの家族、手におえなくてほとんど介護放棄され事業所に任せっぱなしの家族…それぞれの思い、考えがあると思うので、そういう事も取り上げてみてよいかと…（難しい問題ではありますが）

グループホームには、本当にいろいろな方が生活されていると思います。認知症の研修や勉強会が増えてはきましたが、実際グループホームでの事例をもっと詳しく聞けたらよかったです。

- ・2本とも良い報告を聞かせて頂きました。ありがとうございました。

一人ひとりを尊重することはとても大切。特に、看取りの時は責任の重さを感じました。

ただ一つ、丁寧な言葉づかいは良いのですが「利用者様」は丁寧なようで聞きにくいと思いました。

- ・二つの事業所の報告を聞いて「最期までその人らしく生きる支えを考える」改めて考える事ができました。

ななくさは独居（一人暮らし）の方が多いので、出来るだけ在宅で看取りする方が（介護報酬等が良くなってくれれば良いと思います）、増えてくると思います。

二つの事例の経験を生かしながら対応していきたいと思います。職員の方々も自信につながったと思います。

- ・情報交換は密にはといても大切。役割分担で良い働きができる。その人らしくを良く考えさせられました。倣って取り入れたいと思います。

- ・介護・医療としての労働者であり、本人の人間として良心との問題で、いつまでもボランティア状態では、職員のなり手がでてこないことになるのでは。国の制度として、財政措置をとる必要がある。国・市にして制度化するため、国民的運動をおこすことも必要です。

- ・ななくささんの報告から、対象者のご家族を含め、訪看・往診など様々な方々の支援により、より良い対応ができるのだなと感じました。関わる人が多ければ、難しい部分もより出てくるかと思いますが、対象者の為より良い支援がなされたのだなと思いました。

- ・とても参考になり改めて自分の介護のあり様を振り返る場となりました。

GHの取り組みで、午前・午後、散歩や買い物の時間を設け、近所など散歩しながら地域の方と話をしたりしているとあり、その様な場面でその方の思いがけない所を発見できると言われ、自分の職場を考えハッとしました。

散歩の時に地域の人と話をするきっかけなどを作っていないと！！その様な視点がなかった事に気がつかされました。

- ・一題目…チームケアの一人としていい経験をさせていただきました。やれるという自信にもつながっています。

二題目…人手不足の中で生活を支えているスタッフの様子が、よく伺われました。

Q 3. あなたが学習の対象にしたい分野、関心をよせられている課題、疑問をもっておられる内容などについて、ありましたらお書き下さい

<回答>

- ・「地域包括ケアシステム」に対する住民からの自主的「地域包括ケア」の実践を交流していきたい。
- ・介護の仕事のレベルアップ
- ・在宅を支えて下さる Dr の講演を聞けたらと思います。
- ・他事業所の内容をもう少し知りたいと思いました。
- ・在宅療養について
- ・マイナンバーのねらいなども学びたいです。気を付けることなど。
- ・高齢者介護と障害者介護の問題。今、多くの問題が表面に出ています。一人の人間が年齢によって、突然制度が変更されることへの疑問。子育ての分野にも関心があります。
- ・来年4月から施行される障害者差別解消法について、岡山でどう取り組んでいけるかを考えたいです。
- ・今回の話を聞き、ターミナルケアに関心をもちました。
- ・私も少し弱いところがありますが、みんなの力で一日が楽しく元気で終われたら、とってもよいと思います。今日はありがとうございました。
- ・介護職への評価が今どのようなになっているのか。
- ・ヘイトスピーチについて

Q 4. 学習集会の運営等に関して、ご意見がありましたらお書き下さい

<回答>

- ・事業所の名前が「晴れ」となっていました。失礼でしょう。
- ・ニュースで、市民協働局長と書くべき文字が、市民労働局長になっていました。